

Tobu通信

鳥取県教育委員会事務局
 東部教育局
 〒680-0846
 鳥取市扇町2-1番地
 東教発 H.23.7.5 105
<http://www.pref.tottori.lg.jp/t-kyoiku/>

思いをつなぎあい、共によりよく生きる子の育成

～高め合い、みんなで輝く特別活動～ 鳥取市立宝木小学校



宝木小学校では、思いや考えをみんなでつなぎ合う楽しさや話合いの有用性を感じさせる特別活動に取り組み、人とかがわることを通してよりよく生きていこうとする児童の育成をめざしています。

自分たちで生活を高める 話合い活動

<Point>

- 児童相互の考えを深める話合い活動の工夫
- 議題選定の工夫をする
- 特活コーナーを設ける
- グループトーク、ペアトークを充実させる

- 発表リーダーになりたいです。
- 第2回集会で司会を工夫します。

【4年生の実践より】

- 「広げよう!協力の輪、大作戦」
- 4年生の自慢ベスト10を確認し、さらに協力したいことを話し合う。
- みんなが協力してよりよい4年生になるために、自分が取り組むことを発表する。

児童の実態から共通理解した本年度の重点目標

児童間の意見の練り合いから思考力・表現力を育成する
 自ら問題に気づき、進んで生活を改善していく力をつける
 よりよい集団をめざした人間関係形成能力を養う

- 【3年生の実践より】
- 「2階のリーダーになろう」
- 第1回集会での下級生の感想を聞く。

- 2階のリーダーとして手本になるようもっと努力したいことを話し合う。
- みんなの意見を聞いて、新たな自己目標を決めて発表する。

- 最強の4年生になるために、掃除の時は隅々まで学校をピカピカにしようと思いました。

めざす児童像

- 【全校集会の実践より】
- 「なかよし応援旗」を作ろう
- 班の児童がみんなで考えて図案を決定する。
- 全校集会や縦割り活動の時に、みんなの士気を高めるのぼりを作成する。
- 「ゲーム集会」をしよう(5月)
- 集会委員会が計画する。
- 「なかよし給食」で目標や内容について確認する。
- 当日は縦割り班で競争し、お互いのよさを認め合う。

かかわり合って高める 集会活動

<Point>

異年齢集団の育成

- 育てたい力を意識した、集会活動を行う
- 集会や行事の前後に縦割りのなかよし給食を行い、気持ちを高め振り返りを行う
- リーダー性の育成も意識する
- 集会振り返りカードを活用する
- 委員会による新聞(チラシ)を作り、活動の意欲を高める

- みんなの意見が生かされるよう、1年から6年までのなかよし班で話し合いました。
- 素敵な応援旗が完成しました。

- 丸太運びゲームでは、みんなが心をつなげて転がって楽しかったです。もっと協力したいです。

自治的能力の育成

集団と個の両面から子どもを育てる



宝木小学校は、学校の特色を生かして特別活動に取り組み、教師も児童も一緒になって学校を盛り上げていこうとする意識を高めています。本年度は『ことば』に着目し、言葉でつながり合う教育活動に重点を置いています。話合い活動で培った力を教科や生活場面で生かす工夫を重ねることで、目標の具現化が期待されます。

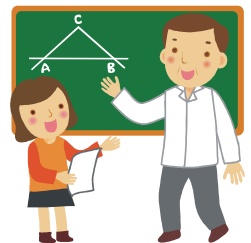


子どもを見る確かな目をもつことが教師力の始まり

局長 久岡 賀代子

斎藤喜博の著書には、教師力について以下のように示されています。

- 「授業を核として、子どもの精神を豊かにし、困難を恐れず、充足感を持ち、自己と他者とを大事にすることや、真の感動を学ばせることを願う。」
- 「教師は、学級内相互の心の交流をベースに、授業を組織化する。」
- 「教師は、人のこころを読み取る力、即応力を持ち、独創性、明確さ、力強さを授業に賦与することのできる芸術家である必要がある。」



教師の醍醐味は、「よりよい授業」を実践し、子どもたちに社会で生きる力を与えることができる教師力を身につけることです。

学校訪問をしていて、多くの学校で授業改善に真剣に取り組まれていると感じます。ただ、よりよい授業を具体的に考えていくには、まず子どもを見る確かな目をもつことが必要だということも感じます。子どもの力をつけるために、授業を徹底的に追究したいという思いをもち、同僚性の中で磨き合うことで専門性を高めていくことができます。授業を核にして、子どもたちの見取りを同僚と話し合い、人間的なかかわりを深めていくことが、教師力を高めていくことにつながるのではないのでしょうか。

総合的な学習の時間における言語活動を位置づけた学習過程

講義のポイント

総合的な学習の時間の必要性を再認識

- ・目の前の問題を解決する力やコミュニケーション力の育成を図る
- ・教師中心型から子ども中心の学習へ展開する

学習はアウトプット（活用すること）が大切

- ・これからの社会は知識を活用できることが重要である
- ・教科で学んだことを探究の活動で活用する

地域に出かけ自ら探究的に学ぶ学習へ

- ・探究のプロセスを意識した学びは、実社会で活用できる能力につながる

総合的な学習の時間担当者研修(6月14日)で、文部科学省の田村学教科調査官の講義と演習を受けました。「探究のプロセスを大切にしたい単元計画作成の仕方」について紹介します。

演習「単元計画作成」のポイント：探究のプロセスを意識し、授業をイメージする

課題の設定：十分な体験活動をもとに、資料を比べて考えたり予想したりしながら課題意識をもつ。

情報の収集：必要な情報を取り出したり収集したりする。

整理・分析：ツールを用意し、具体的な活動で整理したり分析したりして思考する。

ここが重要！

ツールの例 グラフにする マップにかく 年表にかく
カードを使う ペン図を使う など

まとめ・表現：教科の力を生かして、自分の考えなどをまとめ、判断し、発信していく。

新たな疑問から新しい探究へ

探究的な学びの質を深めるには、学習過程での子どもの気づきや発見が大切です。特に、整理・分析では具体的な活動を通して、情報の可視化をし、それをもとに話し合わせる必要があります。

社会教育コーナー

「参加型保護者会」を通してより良い関係づくり

子育て不安などの保護者の悩みに対して、保護者同士が共に学び合い成長できる機会をつくるのが大切です。参加型保護者会は、保護者が主体的に参加し、教師と保護者の相互理解が深まり、より良い協力関係をつくったり、保護者同士をつなげたりするための一つの方法です。進め方の例を紹介します。

保護者会の参加率が低くなっています。どうすればいいのでしょうか？

保護者のニーズの把握

テーマ例 「自信を持たせるかわかり方～宿題やった？～」
子どものやる気に応じた言葉かけが必要なことに気づく

< 課題の共有 >

【担任の思い】

もう少し意欲を持って取り組めたらなあ

【保護者の悩み】

宿題になかなかとり掛かれないうあ

< 展開例 >

アイスブレイキング（話しやすい雰囲気づくり）
ロールプレイを見る（気づきと学び合い）
・「ゲームをしてから宿題をする」という子どもに対して、親は・・・
・自分だったらどんな言葉をかけるか、話し合う
自分自身の振り返り（気づきの共有とまとめ）

次につなぐために

- 【家庭では】
 - ・保護者会で話し合ったことを家庭で実践する
- 【学校では】
 - ・一人一人への声かけ、アドバイスを行う
 - ・その後の様子を伝える

お知らせ 参加型保護者会を体験したり事例を紹介したりするワークショップを8月8日（月）に行いますので、ぜひご参加ください。



学事コーナー

「年次有給休暇(時間休)」の計算方法について

時間休の年次有給休暇を取得する際、時間数の計算で悩まれたことはありませんか？

以下の場合、何時休になるか考えてみましょう。

Q1 11時まで勤務し、その後年休を取得の場合

A1 休憩時間は勤務時間から除外されている時間であり、年休の対象とはなりません。

5時間45分(11:00~16:45) - 45分(12:15~13:00) = 5時間
よって5時休となります。

8:15 11:00 12:15 13:00 16:45

勤務 休暇 休憩 休暇

Q2 11時30分まで勤務し、その後年休を取得の場合

A2 5時間15分(11:30~16:45) - 45分(12:15~13:00) = 4時間30分

1時間を1分でも超えると切り上げになるので、この場合も5時休となります。

8:15 11:30 12:15 13:00 16:45

勤務 休暇 休憩 休暇

Q3 自宅発着の出張で、朝と夕に30分ずつ年休を取得の場合

A3 それぞれ1時間単位で与えられますので、合わせて2時休となります。

8:15 8:45 12:15 13:00 16:15 16:45

休暇 勤務 休憩 勤務 休暇



もうすぐ夏休みですね。今年度から5日に増えた夏季特別休暇と年次有給休暇を有効活用して、心身ともにリフレッシュしましょう。

